

チャリティー御朱印の寺社へ

## 添え印を無償提供

## 東京の印章店

東京・高田馬場の印章店・吉報堂は、能登半島地震被災地支援のチャリティー御朱印を授与する(送料込み)している。小嶋茂男社長は「経費分千円をただ寄付するよりも大きい支援に結び付く。形ある物があれば寺

同社は災害のたびに印鑑寄付などを行ってきた。きっかけは東日本大震災で「仕事が全てストップしたが、会社がつぶれてしまうのなら被災者のために」と認め印数千本を寄贈した。

近年、行政主導の「はんこ廃止」による全国的な印章店の減少で御朱印の注文が集中し、寺社との付き合いが増えた。また能登とは昨年に酒蔵11カ所の「御酒印」を制作した縁があった。

地震発生を受け1月7日に取り組みを「インスタグラム」などで告知し、15寺社が応じた。地



吉報堂提供の添え印(右上)を使って授与している鹿島台神社のチャリティー御朱印(同神社インスタグラムから)

日本大震災の時に石川県大震災で胸を痛めた。報道を見て胸を痛めていたところで告知を知り「これはすぐに参加できる」とお願いした。2月1日に始めて約50件を授与した。4月までは続けるつもり。初穂料は全額、富城県神社庁を通じて神社本庁の基金に寄付する」と話した。

台神社もその一つ。鈴木真由美爾宜は「東日本大震災の時に石川県大震災で胸を痛めた。報道を見て胸を痛めていたところで告知を知り「これはすぐに参加できる」とお願いした。2月1日に始めて約50件を授与した。4月までは続けるつもり。初穂料は全額、富城県神社庁を通じて神社本庁の基金に寄付する」と話した。

小嶋社長は、被災寺社への御朱印の贈呈も検討している。「再建復興に取り掛かる段階で、多くの方に能登の寺社に足を運んでもらえる動機付けに御朱印が役立つなら、2~3万円くらいは負担するので問い合わせてほしい。はんこ文化も寺社も同じ苦境にあり知恵を絞りたい」と語った。

(武田智彦)